

	<input type="checkbox"/> 職員一人一人について、基本姿勢に沿った教育・研修計画が策定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人一人について、援助技術の水準、知識、専門資格の必要性などを把握している。	
	<input type="checkbox"/> 策定された教育・研修計画に基づき、実際に計画に従った教育・研修が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設内外の研修を体系的、計画的に実施するなど、職員の自己研鑽に必要な環境を確保している。	
	<input type="checkbox"/> 教育・研修計画には、新任職員研修も含め段階的な教育・研修が設定されている。	
③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行い、次の研修計画に反映させている。	b
	<input type="checkbox"/> 研修を終了した職員は、報告レポートを作成している。	○
	<input type="checkbox"/> 研修を終了した職員が、研修内容を報告会などで発表し、共有化する機会を設けている。	○
	<input type="checkbox"/> 報告レポートや発表、当該職員の研修後の業務等によって、研修成果に関する評価・分析を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 評価・分析された結果を次の研修計画に反映している。	
	<input type="checkbox"/> 評価・分析された結果に基づいて、研修内容やカリキュラムの見直しを行っている。	
④	スーパービジョンの体制を確立し、施設全体として職員一人一人の援助技術の向上を支援している。	b
	<input type="checkbox"/> 施設長、基幹的職員、心理療法担当職員、家庭支援専門相談員などのスーパーバイザーに、いつでも相談できる体制を確立している。	
	<input type="checkbox"/> 職員がひとりで問題を抱え込まないように、組織として対応できる仕組みがある。	
	<input type="checkbox"/> 職員相互が評価し、助言し合う機会を設けるなどし、職員一人一人の援助技術が向上するよう取り組んでいる。	○
	<input type="checkbox"/> さらに、チームアプローチなど施設全体の養育・支援の質を向上するよう努めている。	○

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

高い点＝職員一人一人に沿った研修計画を実施している。改善点＝研修結果が反映する様に、評価・分析し見直しと、職員の質の向上へ向けての意識づけを行う取り組みが必要である。

8 施設の 運営

(1) 運営理念、基本方針の確立と周知

第三者
評価結果

①	法人や施設の運営理念を明文化し、法人と施設の使命や役割が反映されている。	b
	<input type="checkbox"/> 法人・施設の運営理念が文書(事業計画等の法人・施設内文書や広報誌、パンフレット等)に記載されている。	○
	<input type="checkbox"/> 法人・施設の運営理念から、法人・施設が実施する社会的養護の内容や特性を踏まえた法人・施設の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。	○
	<input type="checkbox"/> 法人・施設の運営理念には運営指針を踏まえ、子どもの権利擁護や家庭的養護の推進の視点が盛り込まれ、施設の使命や方向、考え方が反映されている。	
②	法人や施設の運営理念に基づき、適切な内容の基本方針が明文化されている。	b
	<input type="checkbox"/> 基本方針には運営指針を踏まえ、子どもの権利擁護や家庭的養護の推進の視点が盛り込まれている。	
	<input type="checkbox"/> 基本方針には施設の役割や機能などが具体的に記載されている。	○
	<input type="checkbox"/> 基本方針が文書(事業計画等の法人・施設内文書や広報誌、パンフレット等)に記載されている。	○
	<input type="checkbox"/> 基本方針は、法人・施設の運営理念との整合性が確保されている。	○
	<input type="checkbox"/> 基本方針は、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。	○
③	運営理念や基本方針を職員に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 運営理念や基本方針を会議や研修において説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 運営理念や基本方針の周知を目的とした実践テーマを設定して会議等で討議の上で実行している。	
	<input type="checkbox"/> 運営理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。	
④	運営理念や基本方針を保護者等に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 運営理念や基本方針をわかりやすく説明した資料を作成する等、より理解しやすいような工夫を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 障害のある保護者等に対する周知の方法に工夫や配慮をしている。	
	<input type="checkbox"/> 運営理念や基本方針を保護者等に資料をもとに説明している。	

<input type="checkbox"/> 運営理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。	○
(2) 中・長期的なビジョンと計画の策定	第三者 評価結果
<p>① 施設の運営理念や基本方針の実現に向けた施設の中・長期計画が策定されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 運営理念や基本方針あるいは質の高い養育・支援の実現に向けた将来像や目標(ビジョン)を明確にしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 実施する社会的養護の養育・支援の内容や、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成等の現状分析を行い、課題や問題点を明らかにしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 中・長期計画は、課題や問題点の解決に向けた具体的な内容になっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 中・長期計画に基づく取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 養育単位の小規模化による家庭的養護の推進や早期に家庭復帰が見込めない乳幼児には個々の状況に応じて里親委託を推進し、併せて里親支援機能の充実などを行う計画を明確にしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 医療や療育の必要な子どもに対する専門的ケアや地域支援の拠点機能を強化し、地域の里親支援やショートステイなど家庭支援を行う体制を充実させる内容になっている。</p>	G
<p>② 各年度の事業計画は、中・長期計画の内容を反映して策定されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 事業計画には、小規模化、専門的支援、人材育成、地域支援等、中・長期計画の内容を反映した各年度における事業内容が具体的に示されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 事業計画は、実行可能かどうか、具体的な活動や数値目標等を設定することによって実施状況の評価を行えるかどうかについて配慮がなされている。</p> <p><input type="checkbox"/> 事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。</p> <p><input type="checkbox"/> 事業計画は、前年度の実施状況の把握や評価を踏まえて策定している。</p>	G
<p>③ 事業計画を、職員等の参画のもとで策定されるとともに、実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> 年度終了時はもとより、年度途中にあっても、あらかじめ定められた時期、手順に基づいて事業計画の実施状況の把握、評価を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 評価の結果に基づいて各計画の見直しを行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 一連の過程が一部の職員だけで行われていない。</p>	G

④	事業計画を職員に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	c
	<input type="checkbox"/> 各計画を会議や研修において説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 各計画をメールで配信したり、見やすい場所に掲示するなどの工夫を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 各計画をわかりやすく説明した資料を作成する等によって、より理解しやすいような工夫を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 各計画の進捗状況を確認し、継続的な取組を行っている。	
⑤	事業計画を保護者等に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	c
	<input type="checkbox"/> 保護者等に各計画をわかりやすく説明した資料を作成する等によって、より理解しやすいような工夫を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 各計画を保護者等に資料をもとに説明している。	

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

高い点＝施設は二年後において新設される為、今後は施設全体が改善に向けて取り組むことが出来、将来像を見据えたビジョンへの達成が期待される。改善点＝職員一体となって、中・長期的なビジョンと計画等の策定し、質の高い養育・支援の実現に向けた取り組みが必要である。

(3) 施設長の責任とリーダーシップ

第三者
評価結果

①	施設長は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにし、専門性に裏打ちされた信念と組織内での信頼をもとにリーダーシップを発揮している。	b
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任について、文書化するとともに、会議や研修において表明している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任について、広報誌等に掲載して表明している。 <input type="checkbox"/> 平常時のみならず、有事(災害・事故等)における施設長の役割と責任が明確になっている。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、職員の模範となるよう自己研鑽に励み、専門性の向上に努めている。	○
②	施設長自ら、遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行い、組織全体をリードしている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設長は、法令遵守の観点での施設経営に関する研修や勉強会等に参加している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、リスト化する等の取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	

③	施設長は、養育・支援の質の向上に意欲を持ち、組織としての取組に十分な指導力を発揮している。	b
	□施設長は、実施する養育・支援の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	
	□施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の意見を取り入れるための具体的な取組を行っている。	○
	□施設長は、養育・支援の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	○
	□施設長は、養育・支援の質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	○
④	施設長は、経営や業務の効率化と改善に向けた取組に十分な指導力を発揮している。	b
	□施設長は、経営や業務の効率化と改善に向けて、人事、労務、財務等の面から分析を行っている。	
	□施設長は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	○
	□施設長は、上記について、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	○
	□施設長は、経営や業務の効率化や改善のために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	
(4)経営状況の把握		第三者 評価結果
①	施設運営をとりまく環境を的確に把握するための取組を行っている。	b
	□社会的養護の動向について、具体的に把握するための方法を持っている。	○
	□子どもの数や子どもの状況等について、施設が位置する地域での特徴・変化等を把握している。	○
	□養育・支援のニーズ、潜在的な保護を要する子どもに関するデータ等を収集している。	
	□把握された情報やデータが、中・長期計画や各年度の事業計画に反映されている。	
②	運営状況を分析して課題を発見するとともに、改善に向けた取組を行っている。	b
	□定期的に養育・支援のコスト分析や子どもの数の推移、入所率等の分析を行っている。	○
	□改善に向けた取組が、中・長期計画や各年度の事業計画に反映されている。	

	<input type="checkbox"/> 運営状況や改善すべき課題について、職員に周知し、職員の意見を聞いたり、職員同士の検討の場を設定する等、施設全体で取組を行っている。	○
③	外部監査(外部の専門家による監査)を実施し、その結果に基づいた運営改善が実施されている。	b
	<input type="checkbox"/> 事業規模に応じ、定期的に(2年あるいは5年に1回程度)、外部監査を受けるよう努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 外部監査の結果や、公認会計士等による指導や指摘事項に基づいて、運営改善を実施している。	

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

高い点=今後、二年後の施設の新設・里親・ショート等の支援の事業計画がある。改善点=事業計画を明示し、文章化することで職員一人ひとりの意識改革に向けた取組が必要である。専門家による施設独自の外部監査等の指導が必要である。

(5) 人事管理の体制整備		第三者 評価結果
①	施設が目標とする養育・支援の質を確保するため、必要な人材や人員体制に関する具体的なプランが確立しており、それに基づいた人事管理が実施されている。	b
	<input type="checkbox"/> 必要な人材や人員体制に関する基本的な考え方や、人事管理に関する方針が確立している。	○
	<input type="checkbox"/> 社会福祉士等の有資格職員や心理職等の専門職の配置等、必要な人材や人員体制について具体的なプランがある。	○
	<input type="checkbox"/> プランに基づいた人事管理が実施されている。	
	<input type="checkbox"/> 各種加算職員の配置に積極的に取組、人員体制の充実に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員が、各職種の専門性や役割を理解し合い、互いに連携して組織として養育・支援に取り組む体制が確立している。	○
	<input type="checkbox"/> 基幹的職員、家庭支援専門相談員、心理療法担当職員、里親支援専門相談員等の専門職員の機能を活かしている。	
②	客観的な基準に基づき、定期的な人事考課が行われている。	c
	<input type="checkbox"/> 人事考課の目的や効果を正しく理解している。	
	<input type="checkbox"/> 考課基準を職員に明確に示すことや、結果の職員へのフィードバック等の具体的な方策によって客観性や透明性の確保が図られている。	
③	職員の就業状況や意向を定期的に把握し、必要があれば改善に取り組む仕組みが構築されている。	c
	<input type="checkbox"/> 職員の有給休暇の消化率や時間外労働のデータ、疾病状況を定期的にチェックしている。	○

	<input type="checkbox"/> 把握した職員の意向・意見や就業状況チェックの結果を、分析・検討する担当者や担当部署等を設置している。	
	<input type="checkbox"/> 分析した結果について、改善策を検討する仕組みがある。	
	<input type="checkbox"/> 改善策については、人材や人員体制に関する具体的なプランに反映し実行している。	
	<input type="checkbox"/> 定期的に職員との個別面接の機会を設ける等、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 希望があれば職員が相談できるように、カウンセラーや専門家と連携している。	
	<input type="checkbox"/> 困難なケースの抱え込みの防止や休息の確保などに取り組んでいる。	
④	職員処遇の充実を図るため、福利厚生や健康を維持するための取組を積極的に行っている。	c
	<input type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、福利厚生センターへの加入等、総合的な福利厚生事業を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 職員の悩み相談窓口を組織内に設置し、又は、関係機関と連携して、解決に向けた体制が整備されている。	
	<input type="checkbox"/> 職員の心身の健康に留意し、定期的に健康診断を行っている。	○
(6)実習生の受入れ		第三者 評価結果
①	実習生の受入れと育成について、基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、効果的なプログラムを用意する等積極的な取組をしている。	b
	<input type="checkbox"/> 実習生受入れに関する意義・方針を明文化している。	○
	<input type="checkbox"/> 実習生受入れに関する意義・方針を会議等で職員に説明し、全職員が理解している。	
	<input type="checkbox"/> 実習生の受入れについて、受入れについての連絡窓口、事前説明、オリエンテーションの実施方法等の項目が記載されたマニュアルが整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 受入れに当たっては、学校等との覚書を取り交わす等によって、実習における責任体制を明確にしている。 <input type="checkbox"/> 実習指導者に対する研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 実習指導者に対する研修を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 実習内容全般を計画的に学べるようなプログラムを用意している。	
	<input type="checkbox"/> 学校等と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	○

<input type="checkbox"/> 学校等と連携しながら、実習内容全般を計画的に学べるプログラムを策定している。	○
<input type="checkbox"/> 社会福祉士等の種別に配慮したプログラムを用意している。	○

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

高い点＝家庭支援専門相談員・社会福祉士・看護師・保育士等の種別に配慮している。施設長自ら積極的に養育・支援の質の向上に向けて参画されている。改善点＝職員の意向・意見や就業の状況を把握するとともに職員の意見・悩み相談など・解決策に向けての取り組みが必要である。

(7) 標準的な実施方法の確立	第三者 評価結果
-----------------	-------------

① 養育・支援について標準的な実施方法を文書化し、職員が共通の認識を持って行っている。	b
<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法を職員に周知し、共通の認識を持って一定の水準の養育・支援を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。	
<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、子どもの尊重やプライバシー保護の姿勢が明示されている。	○
<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法に基づいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	○
<input type="checkbox"/> マニュアルは、子どもの状態に応じて職員が個別に柔軟に対応できるものとしている。	○
② 標準的な実施方法について、定期的に検証し、必要な見直しを組織的に実施できるよう仕組みを定め、検証・見直しを行っている。	b
<input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の見直しに関する時期やその方法が施設で定められている。	
<input type="checkbox"/> 見直しの時期は、少なくとも1年に1回は検証し、必要な見直しを行う。	○
<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法の見直しに当たり、職員や子ども等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	

(8) 評価と改善の取組	第三者 評価結果
--------------	-------------

① 施設運営や養育・支援の内容について、自己評価、第三者評価等、定期的に評価を行う体制を整備し、機能させている。	b
<input type="checkbox"/> 評価に関する担当者・担当部署が設置されている。	○
<input type="checkbox"/> 職員の参画による評価結果を分析・検討する場が、施設として定められ実行されている。	○
<input type="checkbox"/> 3年に1回以上第三者評価を受けるとともに、定められた評価基準に基づいて、毎年自己評価を実施している。	
② 評価の結果を分析し、施設として取り組むべき課題を明確にし、改善策や改善実施計画を立て実施している。	c

<input type="checkbox"/> 職員の参画により評価結果の分析を行っている。	
<input type="checkbox"/> 分析した結果やそれに基づく課題が文書化されている。	
<input type="checkbox"/> 職員間で課題の共有化が図られている。	○
<input type="checkbox"/> 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善実施計画を策定する仕組みがある。	

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

改善点＝職員一人一人が養育・養育支援に対する質の向上のために、職員の参画による計画・評価等の分析を行い、文章化され課題に向けて改善策を施設全体が一丸となり、今後はクリヤできる体制が必要と思われる。

